

地方公共団体間の連携（新中核市制度、地方中枢拠点都市制度）

「中核市への移行に関する調査」を実施

中核市の人口要件の緩和に伴い、沼津市及び富士市と県で連携し、中核市移行の先進事例等を調査・研究の上、そのメリットや課題等を整理し、成果を共有した。

「地方中枢拠点都市圏（現在の連携中枢都市圏）」制度に関する調査・研究

第30次地方制度調査会から提示された新たな広域連携の仕組みである連携中枢都市圏制度の活用について、県内市町における論点・課題等を調査・研究した。

第30次地方制度調査会の答申に基づき新たに導入された地方自治に関する制度について、市町と県が連携し、課題整理や調査・研究を行い理解を深めた。

【中核市への移行に関する調査】

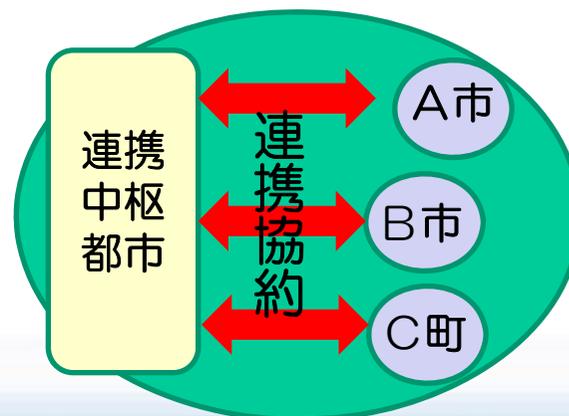
中核市への移行に関する調査

- 1 中核市制度について
- 2 中核市指定に係るスケジュール（先進地の事例より）
- 3 移譲事務の項目等について
- 4 中核市移行に伴う財政影響額
- 5 中核市移行に伴う新しい組織及び職員配置について
- 6 職員研修について
- 7 保健所について

中核市制度WG
平成27年3月

【地方中枢拠点都市圏（現在の連携中枢都市圏）制度とは】

地方圏において、相当の規模と中核性を備える圏域において市町村が連携し、コンパクト化とネットワーク化により、人口減少・少子高齢社会においても一定の圏域人口を有し活力ある社会経済を維持するための拠点の形成を目指すもの。



富国有徳の理想郷 - しずおか

ふじのくに

